

報道関係各位

2022年1月31日

2022年 SUPER FORMULA 開催概要

—SF NEXT50 パートナーと共に提供するこれからのモータースポーツの楽しみ方について—



※画面は開発中サンプルです



未来のモータースポーツ
開発サポーター
募集します

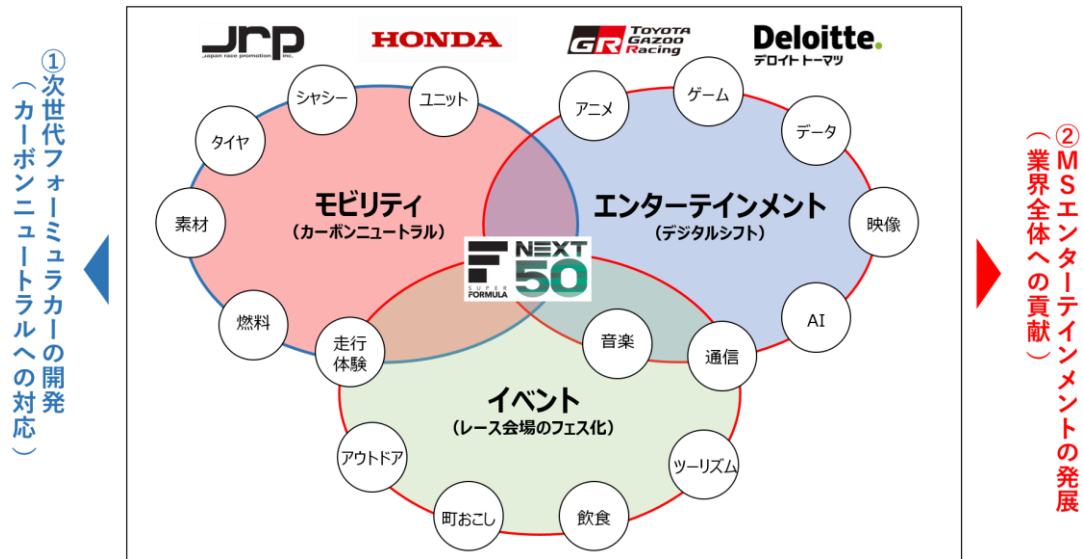


全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下 SUPER FORMULA）を開催する株式会社日本レースプロモーション（以下 JRP）は、2022年の SUPER FORMULA 開幕に向けた、シーズンの概要ならびにお客様に向けた具体的なサービスについて発表いたしました。

昨年10月末に、Honda・TOYOTAと共に発表した『SUPER FORMULA NEXT 50 〈ゴ-〉（以下 SF NEXT 50）』を通じ、50年後もモータースポーツ業界がサステナブルであるためにどうしたら良いか、Honda・TOYOTAに加え、チーム、サーキット等の関係各社と議論を重ねてまいりました。

そしてその初年度となる2022年を「実験の年」と位置づけ、『ドライバーズファースト』というビジョンの下、モビリティとエンターテインメント、そしてイベントという3つの軸で、業界内外のパートナーの皆様と様々なチャレンジを実施してまいります。

SUPER FORMULA NEXT 50パートナーシップの目指す姿



1. 2022年シーズン概要

参戦するドライバーの活躍の場、ファンの皆様の応援の場をより広げるべく、2022年につきましては年間3大会において「土日2レース制」を導入することで、年間シリーズとしては昨年より3戦多い、全7大会10戦として開催いたします。また、予選方式を従来のQ3からQ2までとすることで、セッションの展開をよりスピーディーにし、予選の緊迫感を高めることに加え、2レース制の大会については金曜日の専有走行を復活させるなど、一部のレースフォーマットをドラスティックに見直してまいります。

これらの変更を通じ、チームのタイヤ使用本数の総量を削減するなど、環境負荷低減に向けた取り組みを進めると同時に、年間を通じてファンの皆様の応援機会を増やしてまいります。

※2022年レーススケジュールならびに全チーム・ドライバーラインナップは別添ご参照

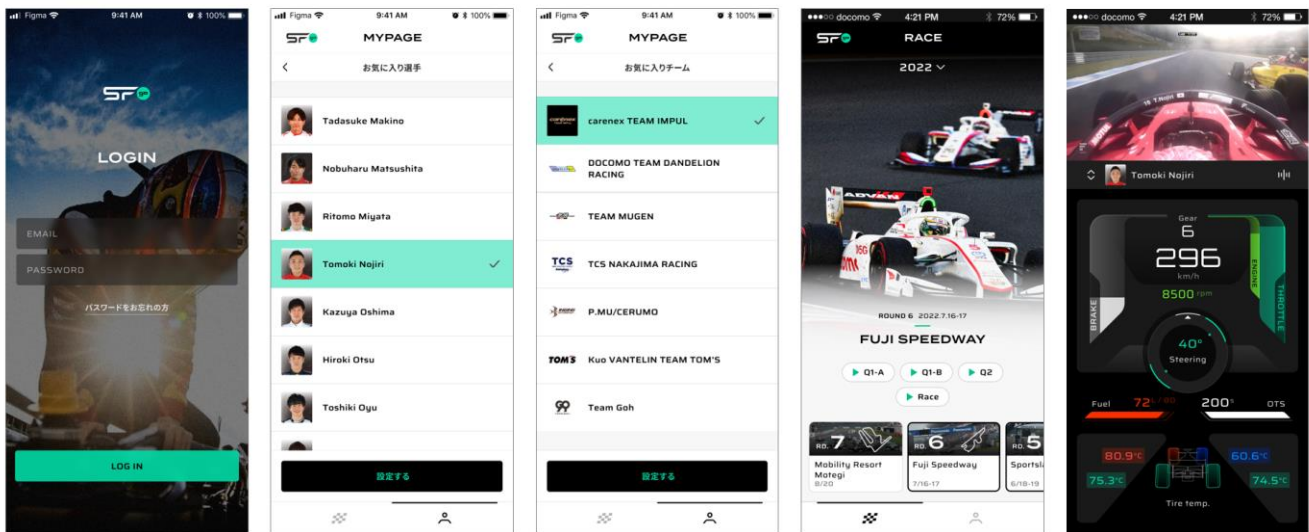
2. 情報発信のデジタル化

ドライバーの凄さや魅力を余すことなくお伝えするため、2022年からはデジタルツールを活用した情報発信を拡大してまいります。具体的には、新デジタルプラットフォーム『SFgo (エスエフゴ)』の立ち上げ、ならびに公式YouTubeチャンネルの強化です。

『SFgo』は、レースの公式映像を視聴できるだけでなく、全ドライバーのオンボード映像、車両のテレメトリデータ、チーム無線などを公開し、ファンの皆様に新しいレースの楽しみ方を提供していくことを目的としております。将来的にはチームやドライバーとのコミュニケーションツールや、新たなコンテンツの発信基地となることを目指してまいります。

この『SFgo』の開発にあたり、富士通株式会社、および“無限”ブランドを展開する株式会社M-TECをデジタルパートナーとして迎え、共に開発を進めてまいります。

<SFgo の UI イメージ>



しかし 2022 年に関しては、まだ様々な技術の開発途上にあるため、共にこの開発を進めていただける 300 名のファンの方を、『SFgo 開発サポーター』として募集いたします（税込み 5,000 円/年間）。サポーターになっていただく方には、各大会での『SFgo』のユーザーインターフェースの改善や、動作環境の確認等、様々なモニタリングを通じ、開発にご協力いただきます。加えて、JRP が主催する「SFgo 開発座談会」等の会議への参加や、今後各大会に併せて実施する次期フォーミュラカーの開発テストを特別エリアで見学いただけるなど、『SF NEXT 50』プロジェクトの一員となっていただく予定です。

一方、全てのファンの皆様に SUPER FORMULA のレース中継やその他のコンテンツを楽しんでいただくために、2022 年より公式 YouTube チャンネルのメンバーシップを拡充いたします。

従来の無料コンテンツでは、フリー走行、公式テスト等の LIVE 配信に加え、レースダイジェストやブランドコンテンツ等をお楽しみいただけます。また新たに開設する有料メンバーシップについては、予選・決勝の LIVE 中継を気軽にご覧いただけるエントリープラン（月額 90 円）と、『SFgo』で導入する全ドライバーのオンボード映像等から厳選編集したフルレースレビューや、1972 年以降の国内トップフォーミュラのヘリテージ映像等をご覧いただけるプレミアムプラン（月額 490 円）の 2 つを設定いたします。

※YouTube の詳細については 3 月下旬に発表予定

3. 業界連携によるイベントの盛り上げ

イベント面ではこれまで以上にファンの皆様やそのご家族に楽しんでいただけるよう、業界の垣根を越えて、3 つのテーマエリアで様々なコンテンツを提供してまいります。

①SF NEXT50 ヴィレッジ

SUPER FORMULA に参戦する全チームと Honda・TOYOTA、JRP が一丸となり、ドライバーやレースの魅力、そしてクルマの楽しさを発信します。

②モビリティキッズパーク

未来のモータースポーツファン、クルマファンを育む体験エリアです。モビリティをテーマに、「身体を動かす」「手を動かす」「頭を動かす」様々なコンテンツを提供します。

③カーボンニュートラルスクエア

環境に対して様々な取り組みを実施している企業・団体の活動を応援するエリアです。

イベントエリアの広がり



なお、モビリティキッズパークとカーボンニュートラルスクエアについて、一緒に盛り上げていただけるパートナーを、本日より公募いたします。自動車業界、モータースポーツ業界の発展に向けて、共にチャレンジいただける企業、団体、行政の皆様のご参加をお待ちしております。

この他にも、ファンの皆様がよりドライバーやチームの近くで応援いただけるよう、全チームの応援席と観戦グッズがセットとなった「ファンシート」の設定や、各サーキットの特性に合わせアウトドアの楽しさを広げていくなど、ファンの方々が足を運びたくなる SUPER FORMULA を目指し、段階的にサービスを拡充してまいります。詳細につきましては、各大会のチケット発売に合わせて発表いたします。

このように、一人でも多くの方に SUPER FORMULA を楽しんでいただけるよう、様々な取り組みを引き続き検討してまいります。世界最高峰のレースに恥じないモータースポーツエンターテインメントを、関係者はもとより、パートナー各社、そしてメディアやファンの皆様と共につくってまいりたいと存じますので、引き続きご期待、ご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<参考①：2022年レーススケジュール>

Round	日程	開催サーキット	レース距離	決勝開始時刻
第1戦	4月9日(土)	富士スピードウェイ (静岡県) ※2レース	187.083km	14:30
第2戦	4月10日(日)			
第3戦	4月23日(土)・24日(日)	鈴鹿サーキット (三重県) ※2輪 (JSB1000クラス) との併催	180.017km	
第4戦	5月21日(土)・22日(日)	オートポリス (大分県) ※2輪 (JSB1000クラス) との併催	196.308km	
第5戦	6月18日(土)・19日(日)	スポーツランド SUGO (宮城県)	190.058km	
第6戦	7月16日(土)・17日(日)	富士スピードウェイ (静岡県)	187.083km	
第7戦	8月20日(土)	モビリティリゾートもてぎ (栃木県) ※2レース	177.637km	
第8戦	8月21日(日)			
第9戦	10月29日(土)	鈴鹿サーキット (三重県) ※2レース	180.017km	
第10戦	10月30日(日)			

*開催日程はJAFの公示をもって正式となります。

【レースフォーマット】

①1大会1戦の場合

土曜日:FP1 90分/予選 Q1 及び Q2

日曜日:FP2 30分/決勝レース(給油禁止・タイヤ交換義務有り)

②1大会2戦の場合

金曜日:専有走行 90分

土曜日:予選 Q1 及び Q2/決勝レース(給油禁止・タイヤ交換義務有り)

日曜日:予選 Q1 及び Q2/決勝レース(給油禁止・タイヤ交換義務有り)

<参考②：チーム／ドライバー体制>

HONDA HRC
Honda RACING



TEAM MUGEN
No.1 野尻智紀 茨城県



ThreeBond Drago CORSE
No.12 福住仁嶺 徳島県



TCS NAKAJIMA RACING
No.64 山本尚貴 栃木県
No.65 大湯都史樹 北海道



DOCOMO TEAM DANDELION RACING
No.5 牧野任祐 大阪府
No.6 大津弘樹 埼玉県



B-Max Racing
No.50 松下信治 埼玉県
No.51 TBA



TEAM GOH
No.-- 佐藤 蓮 神奈川県
No.-- TBA

GR TOYOTA GAZOO Racing



KONDO RACING
No.3 山下健太 千葉県
No.4 サッシャ・フェネストラズ フランス



docomo business ROOKIE
No.14 大嶋和也 群馬県



Kuo VANTELIN TEAM TOM'S
No.36 ジュリアーノ・アレジ フランス
No.37 宮田莉朋 神奈川県



KCMG
No.7 小林可夢偉 兵庫県
No.18 国本雄資 神奈川県



carenex TEAM IMPUL
No.19 関口雄飛 東京都
No.20 平川 亮 広島県



P.MU/CERUMO-INGING
No.38 坪井 翔 埼玉県
No.39 阪口晴南 大阪府

<参考③：関連イベントのご紹介>

①2月6日(日) Honda Racing THANKS DAY 2021-2022

URL : <https://www.honda.co.jp/motorsports/hrtcd/2021/>

②3月5日(土)・6日(日) 鈴鹿サーキット 60周年ファン感謝デー

URL : https://www.suzukacircuit.jp/msfan_s/

③3月7日(月)・8日(火) SUPER FORMULA 公式テスト@鈴鹿サーキット

④3月22日(火)・23日(水) SUPER FORMULA 公式テスト@富士スピードウェイ

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

(株)日本レースプロモーション広報事務局：上坂

Email: media@superformula.net

SUPER FORMULA オフィシャルサイト

<https://superformula.net/sf2/>